

## 伝える・つなぐ 「廻江番神さん祭り」

毎年12月8日に行われます。

### 「どんな祭り」

番神さんの前に老若男女の区民が集まり、子どもたちの手で、30番神に香を焚き、供え物をし、広場で竹などを燃やし、「防火と健康」をお願いするお祭りです。古くは、燃やした灰を家に持ち帰り、庭先や畑にまき縁起を担いだようです。また、供え物のミカンなどを高いところから投げる「みかん投げ」はこの時季の楽しい、賑やかな行事になっています。

30番神とは、仏教の世界で使われてきたもので、もとは30日間を日替わりで国や法華経を守る30体の神様です。



### 「廻江の番神さんは数回引っ越し」「みかん投げ場所も変わりました」

- ①菊池家(菊池只彦氏)の屋敷内に建立(年代不明)
- ②一時期、川尻横町の本立寺境内に預けられるが、自宅が火災に遭遇したため、再び屋敷内(下益城北部中学校)に。
- ③下益城北部中学校の拡張で、今の消防ポンプ格納庫付近に移設。
- ④昭和44年中学校が新設移転、町営住宅が建設され「団地集会所」内に。
- ⑤平成17年に現廻江公民館に移されました。

今年も午後5時、準備した竹、わらをきれいに積み、子ども会が中心になり実施。みかん投げはささやかになりましたが、リーダーの役割、やさしさ、思いやり、地域のみなさんへの感謝の気持ちは受け継がれます。



点火は上級生 リーダーの役割



みかん投げ 下級生は前列に



準備には地域の力が

## 「守ろう 清流 緑川」と 手長エビ稚魚をたから保育園児32名が放流

緑川漁協組合が、毎年実施しているもので、11月29日緑川河川敷で30kg(約3万匹)を放流。稚エビは28日夕方、松岡さん(琵琶湖の漁師)と共に出発。朝着いたばかり。碓江堰でも20kg放流されました。



やさしく川に「元気でね」



「またね! バイバイ」

### 榎津子ども会 花うえ&ウォークラリー

12月16日(日)午前9時、榎津公民館に多くの区民が集まる。榎津子ども会、老人会、健康推進委員、そして区議員会を中心に楽しいイベントの始まりです。まずは「花植」。「ピオラ」を通学路の2ヶ所に先輩の指導を受けながら子ども達がいねいに、やさしく植えました。次は榎津区一周のウォークラリー。手に手にごみ袋をもって、会話を楽しみながら歩きました。美化と親睦です。参加者は140名。

海平区長は「老人会から『花植を一緒にすると子ども達の顔を覚えるのでは』との提案があり企画。今後も続けていきます」と笑顔でした。



歩いた後は楽しい食事会です



老人会の先輩の指導で



指導をよく聞いて植えました



拾うことは 捨てないことに